

セーターの洗い方 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア

			
1) シンクに 30℃のぬるま湯 10ℓ 注ぎ重曹 小さじ 1 杯とアラウル 10~15 cc投入	2)セーターを大きくたたみ 5~10 分間漬け込みます。	3)おひたしを絞る要領で洗います。	4)厳禁動作 揉み洗い/ねじり絞り ブラッシング
			
5)栓を抜き排水します。 おひたしを絞る要領で水を切ります	6)シンクに 30℃のぬるま湯 10ℓ 注ぎクエン酸 少々入れ濯ぎます。	7)栓を抜き排水します。 ひたしを絞る要領で水を切ります。	8)30℃のぬるま湯 1ℓ にウルケア 5cc 入れます。
			
9)おひたしを絞る動作でリンスします。	10)脱水します 羊毛 1分 カシミア・アルパカ 2~3分	11)蒸気アイロンの蒸気を掛けて小じわを取ります。	12) ビニールクロスを敷いたテーブルに平に干しますとシワの発生が少なく乾き上がります。

漂白したい場合は、洗浄時オキシフルもしくはオキシドール 20cc を投入してください。

毛・絹製品を水で洗うと染料が溶出しますが、衣類が薄くなる心配はありません。

縮みを最小限にするコツ「洗い・濯ぎ・柔軟加工に使う水の温度を同じにする」ことです。

ドライクリーニングを指定してある衣類でも水で洗えるものも多く存在しますが、慎重に洗っても衣類によって縮みが起こることがあることも考慮して行ってください。

ドライマークでも洗える衣類

- ポリエステル生地(表地・裏地・中綿)・ナイロンは洗うことが可能で、縮みはまず起こりません。
コート・ブルゾンなどが該当します。毛皮のトリミングは、外し拭いてお手入れ
- 水洗い対応となっているスーツも洗うことが可能です。
購入の際、水洗い対応・ウォッシュャブルを選びますと宜しいです。
夏場は大変汗をかきますので、適宜水で洗うと大変衛生的です。

不可能な製品

- レーヨン・テンセル・キュプラとそれら混紡品 ●東南アジア産のシルク(染色が落ちる)
- アンゴラ製品・皮革製品・和服等特殊衣類

ダウンジャケットの洗い方 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア

一度この説明書を、すべて目を通してから洗濯ください



右図のように裏返しにして洗いますと水の抜けが良好です。

渦巻き式洗濯機 1着あたり 予洗→脱水→本洗→濯ぎ2回→柔軟加工→脱水

予洗 膨らみを収縮させるため、約30L30℃のぬるま湯に重曹大さじ2杯入れて右図の通水カップで10回押しして予洗いをし1～2分脱水します。(100円ショップで入手できます)

本洗 約30L水温30℃ 風呂水ON

適正水位になったらアラウル30cc 2着洗いは各2倍量

以上を入れて洗濯機を運転させ1分ほど攪拌します。少し泡が消えた場合は、洗剤10ccを目安に徐々に添加し、水面にうっすらと泡が立つように微調整してください。10分ほど浸け置きして襟・袖口等汚れていましたらブラシ掛けをします。

衣類が収縮して浸かっている場合 洗濯機による自動運転

洗い5分 濯ぎ2回(洗剤BOXにクエン酸小さじ半杯/柔軟剤BOXにウルケア20cc) 脱水3分

衣類が膨らんで浮いている場合 押し洗い

通水カップで押し洗い10～20回 濯ぎ2回(1回目にクエン酸小さじ半杯/2回目ウルケア20ccを入れて馴染ませる) 脱水3分

乾燥 機械乾燥は必須です

乾燥機をお持ちでしたら30～40分乾燥します。乾燥の目安は80%ほどで後は自然乾燥してください。お持ちでない場合は、コインランドリーの乾燥機(3～5点乾燥可能)をご利用ください。自然乾燥はダウンが蒸れてしまいますので、洗濯と機械乾燥を連続して行うようにしてください。完全に乾いたらダウンの偏りを手でほぐして均一にします。最終的に2～3分乾燥機に掛けますと一段と嵩高に膨らみます。

ドラム式洗濯機

予洗 水温 30℃ 高水位 重曹大さじ 2 杯 洗浄時間 2 分→脱水 2 分 膨らみを収縮させます

本洗 洗い 5 分高水位 水温 30℃(洗剤 BOX にアラウル 30cc ウルブリーチ大さじ 1 杯)

濯ぎ 3 回(柔軟剤 BOX にウルケア 20cc) 脱水 3 分にセットしてスタート


応用編 上記方法でナイロン・ポリエステル等、化学繊維で出来ているジャンパー・コート類はドライクリーニング指定でも洗うことが出来ます。脱水は 30 秒から 1 分ほどの短めにしていただくとシワが発生しません。中綿がある場合は 2 分ほど脱水してください。乾燥機をお持ちでしたら 5 分ほど掛けて、後に自然乾燥して下さい。脱水後、ハンガーに掛け裾を軽く引っ張りながら蒸気アイロンを掛けると小じわが伸びて乾いた時にほとんどシワが無く乾き上がります。

羽毛布団類も同じようにして洗いことが出来ます。大きさに応じて水量や洗剤の量を増量して洗濯ください。濯ぎを 2 回して脱水、その後、また 25℃の水を布団が浸る量を入れ柔軟剤を 50 cc 入れて手で施して馴染ませ 5～7 分脱水して乾燥してください。



ネクタイの洗い方

使用資材 洗剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 糊剤:パリット

		
洗面器に1ℓ・30℃の水を入れ重曹少々・アラウル5ccを投入シミがあるときはオキシフルorオキシドールを小さじ半分投入	ネクタイを漬け込みます。5分後4〜5回丁寧に押し洗いをします	洗面器に3ℓ・30℃の水を入れ軽く4〜5回押し濯ぎをして排水します
		
200mLの25℃の水にウルケア2mLパリットを4mL入れ馴染ませます。	ネクタイの表が内側になるように洗濯槽に立てかけるように配置します	1分絞ります
		
タオルで挟んで水分を取ります	このように上から押してください	平滑面に表が下になるようにしてシワが出来ないように干します

ガラス面に切手を貼って乾かすように平滑な平面に干しますと、シワが出来ずに乾かすことができます。

翌日、ネクタイが完全に乾きますと仕上げをしなくともシワが伸びている場合が多いです。シワがありましたら仕上げをします。糊を付けていますので少し硬い感じがしますが、蒸気アイロンを少し浮かしてネクタイと触れるか触れないかのタッチでアイロンをかけますとしなやかになります。プレスの際の蒸気の量は、かなり少なめにするとよいです。

注意点

通常、ネクタイはドライクリーニングが指定されていますが、汗や食べこぼし等で水溶性の汚れが除去されずに洗いあがるのが実情です。基本的に「水洗い不可」のマークが表示されていますが、上記の手順に従って洗えるネクタイもあります。生地や織りや染色に影響を最小限にするレシピとプログラムですが、すべてのネクタイが洗浄できるとは限りません。下記のものとは不可能なものがあります。

縮みやすいネクタイの種類 朱子織物・ニット製品・糸のざっくりとしたもの

スーツ洗い 洗浄剤:アラウル 柔軟剤:ウルケア 糊剤:パリット

		
15L 水温 30℃に重曹を小さじ1杯投入	アラウル 20mL 投入 オキシフル 大さじ1杯入れると除菌可能	5分漬け込み後、押し洗い排水し軽く押し絞ってください
		
15L 水温 30℃にクエン酸を小さじ半分入れて押し濯ぎをします	2ℓの水温 25℃のぬるま湯にウルケア 10mL 投入	更に糊剤パリットを 20mL 投入します。
		
柔軟&糊付けをします	襟同士を合わせて引き上げます	洗濯槽に均一に配置
		1分間脱水します 脱水後、ハンガーアップして蒸気アイロンを掛けますと小じわがほとんど伸びて、場合によっては乾いた時にアイロン不要となります

●縮みを最小限にするコツは、洗浄と濯ぎの時の水温を同一にすることです。

●**ドライマーク製品を水で洗うことはケースバイケースです。**

洗うことは上記工程に説明されているように高度な技術を必要としませんが、「水で洗えるか洗えないかの仕分」が一番重要です。紺ブレザーに代表されるような糸が細く撚りがしっかりとしている生地は、縮みが起こりにくいですが、ツイードや杉綾のジャケットのようにざっくりとした糸で出来ている衣類は縮みやすい傾向にあります。また、ダッフルコートやカシミアコート(下画像)も上記工程で洗える場合もあります。



エコショップ ecomo 代表 木内茂二
〒134-0084 東京都江戸川区東葛西 5-16-12
TEL:03-3868-2963 FAX:03-3868-3113
<http://www.kiuchicleaning.com>